

地域と学校のコラボ日記④(「地域学校協働活動」編 その3)

「地域学校協働活動」とは、子どもの健全育成ため、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える様々な活動です。



地域学校協働活動は、学校、地域、家庭の3者が目標を共有して子どもの育成に関わる活動です。今月は、その共有目標(共育目標)に向かって地域が中心となって取り組んでいる地域学校協働活動についてご紹介します。

若葉・中原公民館では地域のスタッフ十数名で毎週1回放課後に児童たちを集めて「ふるさと塾」を運営しています。学習と体験の充実という学校と地域の共育目標のもと、子どもたち



山口コミュニティ運営協議会の安全安心部会では、子どもたちの安全確保という学校と地域の共育目標のもと、通学路での安全を喚起するため、自作の横断標識(ストップマーク)を道路に取り付けて登下校指導をしています。



また、針摺東公民館では毎週1回放課後、児童たちを対象に寺子屋「太陽塾」が開かれ、宿題を中心とした勉強会をしています。



は宿題仕上げが終わると、七夕かざりづくり、長縄回し、チャンバラごっこなどで遊びます。高齢者の人たちの活躍の場にもなっています。